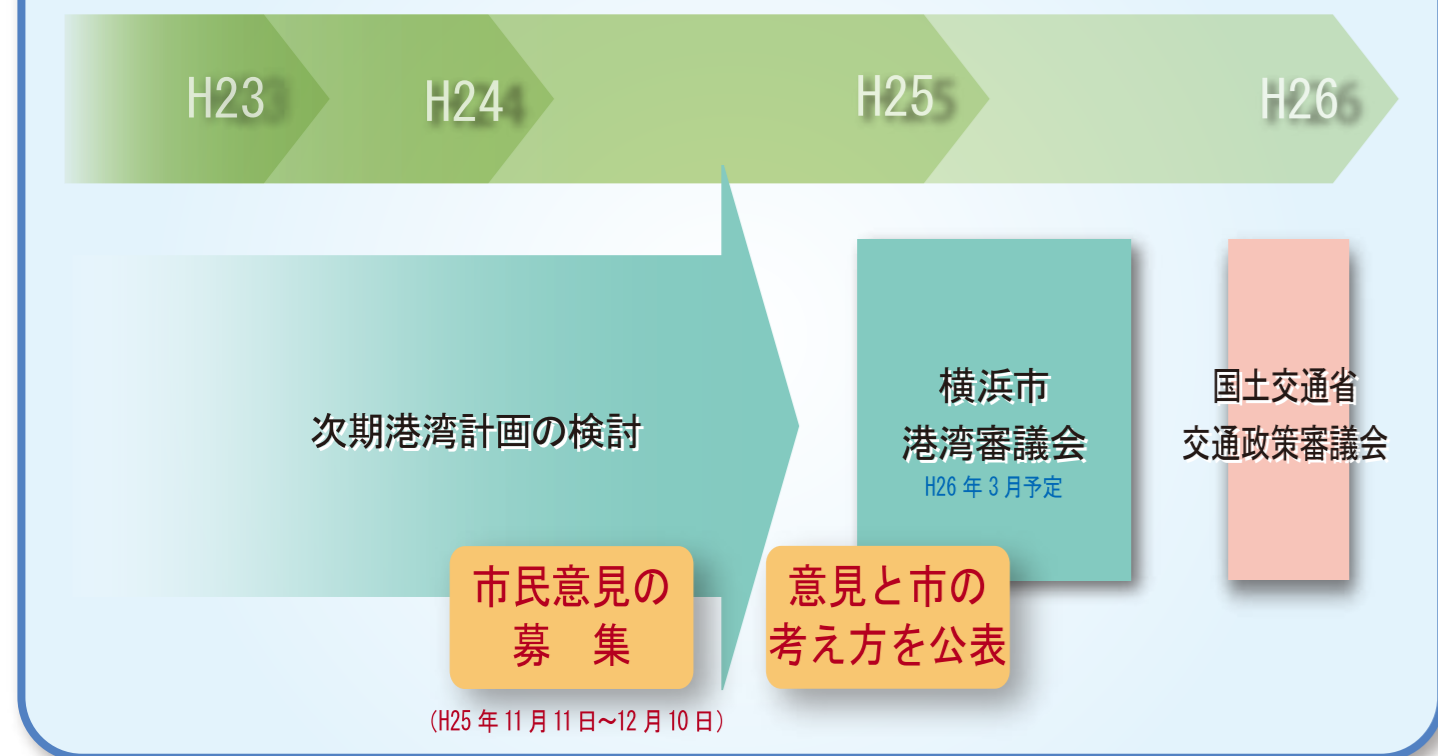


横浜港 港湾計画の改訂スケジュール



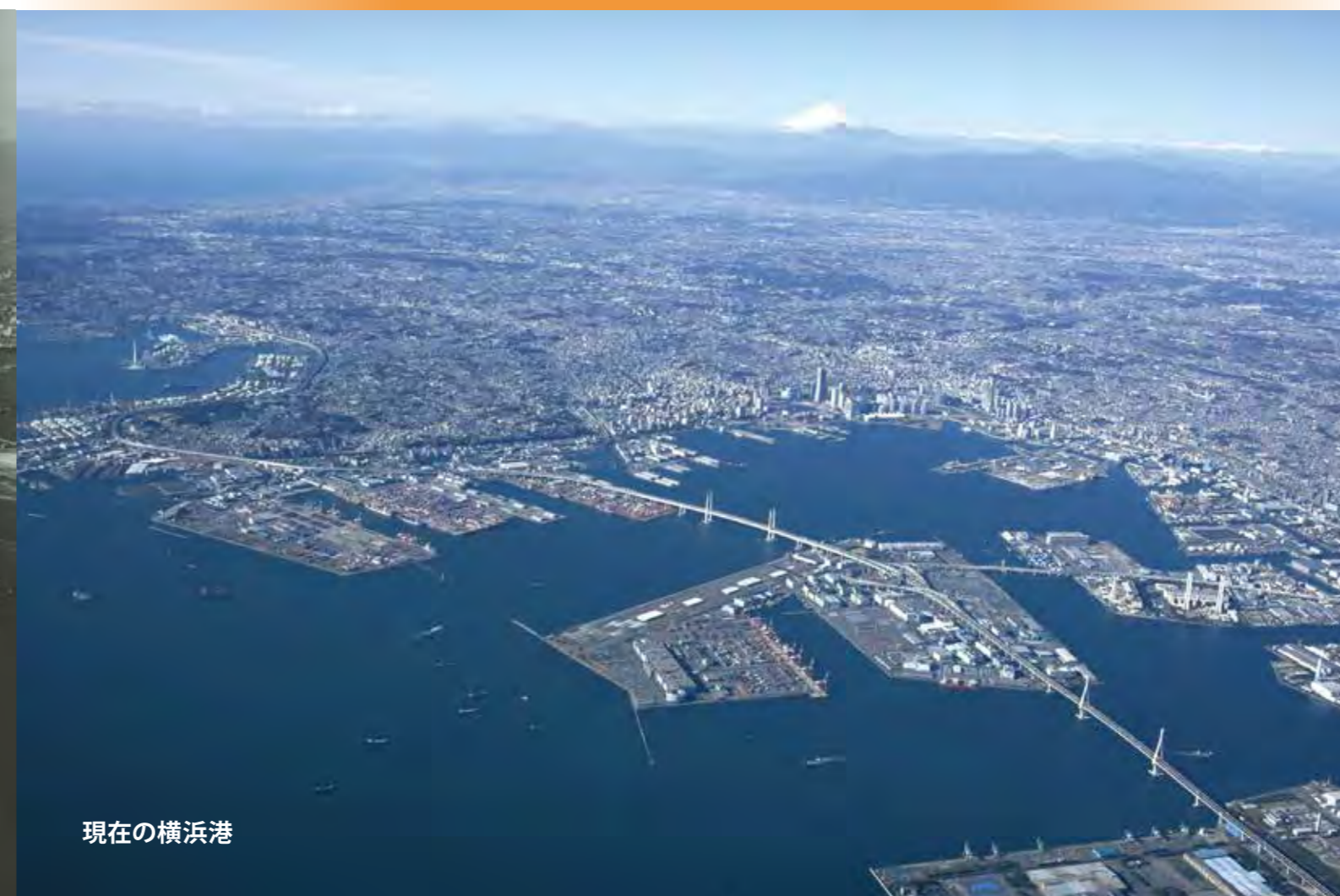
横浜港港湾計画の改訂案に関する市民意見募集

# ヨコハマの港湾計画に あなたのご意見を!

平成25年11月11日(月)～12月10日(火)



昭和50年代前半の横浜港  
横浜市史資料室所蔵



現在の横浜港

● お問い合わせ ●

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 (産業貿易センタービル5階)

横浜市港湾局企画調整課

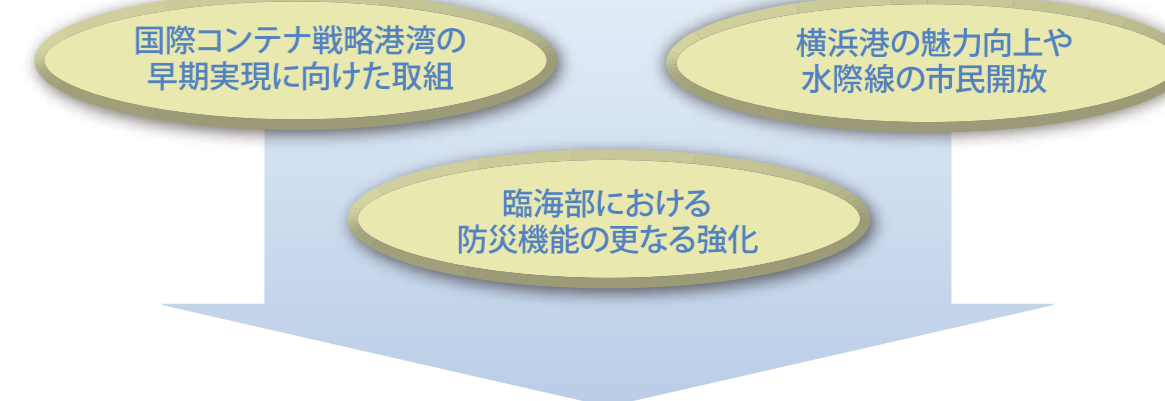
電話 045-671-7300 ファクス 045-671-7310

Eメール kw-kaitei@city.yokohama.jp

ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/>

平成 25 年 11 月 発行

横浜港を取り巻く環境の変化



横浜港の目指すべき姿

国際競争力のある港

横浜経済の活性化と  
市民生活を豊かにする  
総合港湾づくり

市民が集い、憩う港

安全・安心で環境にやさしい港

求められる取組 (検討項目)

- ① 公共ふ頭計画
- ② 新規ふ頭計画
- ③ 臨港交通施設計画
- ④ 臨海部における賑わい創出
- ⑤ 山下ふ頭の再開発
- ⑥ 旅客船ふ頭計画
- ⑦ 大規模地震対策施設
- ⑧ 環境保全

概ね10年後の平成30年代後半  
(目標年次)

きりとり  
郵便はがき

料金受取人私郵便  
横浜港局承認  
8353  
差出有効期間  
平成25年12月10日  
まで

〒 231-0230  
横浜市中区山下町2番地  
(産業貿易センタービル5階)  
横浜市港湾局企画調整課 行

〒 \_\_\_\_\_

住所

氏名

(ふりがな)

意見の提出方法

ご意見は、住所・氏名を明記の上、左のハガキをご利用になり郵送していただくか、ファクシミリや電子メールにて下記の宛先までお寄せください。

また直接持参する場合には住所、氏名を明記の上、横浜市港湾局企画調整課までお持ちください。

<ファクシミリ> 045-671-7310

<電子メール> kw-kaitei@city.yokohama.jp

募集期間

平成 25 年 11 月 11 日 (月)～  
12 月 10 日 (火)

※郵送の場合は 12 月 10 日 (火) の当日消印有効です。

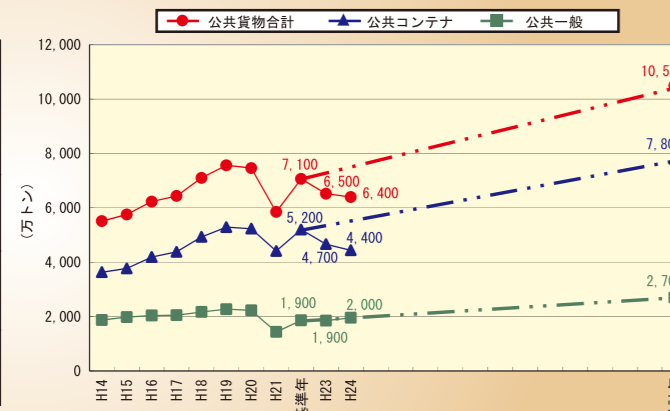
■お寄せいただいたご意見については、市の考えと併せてホームページで公表します。

■「お電話でのご意見の受付」および「ご意見への個別の回答」はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

■お寄せいただいた情報については、意見募集の用途以外には使用いたしません。

## 目標貨物量

	基準値 (平成22年)	目標値 (平成30年代後半)
公共全体貨物量	7,100万トン	10,500万トン
うちコンテナ貨物量	5,200万トン	7,800万トン
コンテナ個数	328万 TEU	518万 TEU



## 国際競争力のある港

### ① 公共ふ頭計画

《我が国を代表する物流港湾として、市民生活や地域経済を支えていきます》

#### 【コンテナふ頭】

世界の海運動向や利用者ニーズを踏まえ、コンテナ船の大型化や、貨物量の増加に対応していきます。

先進的な施設整備や既存施設の再編を進め、コンテナ取扱機能を強化します。[本牧ふ頭、南本牧ふ頭、新規ふ頭]



● 本牧ふ頭BCコンテナターミナル

#### 【一般貨物ふ頭】

主力品目である完成自動車など、一般貨物を効率的に取り扱えるようふ頭機能の転換や強化を行います。

[大黒ふ頭、本牧ふ頭 A 突堤]

### ② 新規ふ頭計画

《臨海部に新たな物流拠点形成します》

今後増加する貨物や物流の高度化・効率化に対応するため、本牧沖に新たなふ頭を計画し、大水深・高規格コンテナターミナルを配置します。輸出入機能を強化するため、ロジスティクス機能を確保していきます。

埋立には、市内から発生する公共建設発生土を有効活用し、今後の都市基盤整備を長期的かつ安定的に支えています。

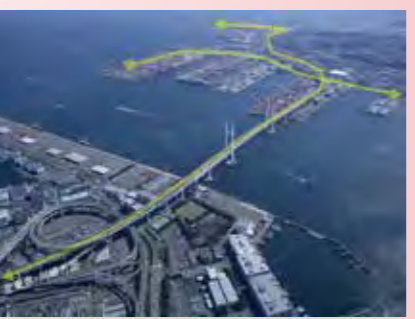


● 南本牧ふ頭

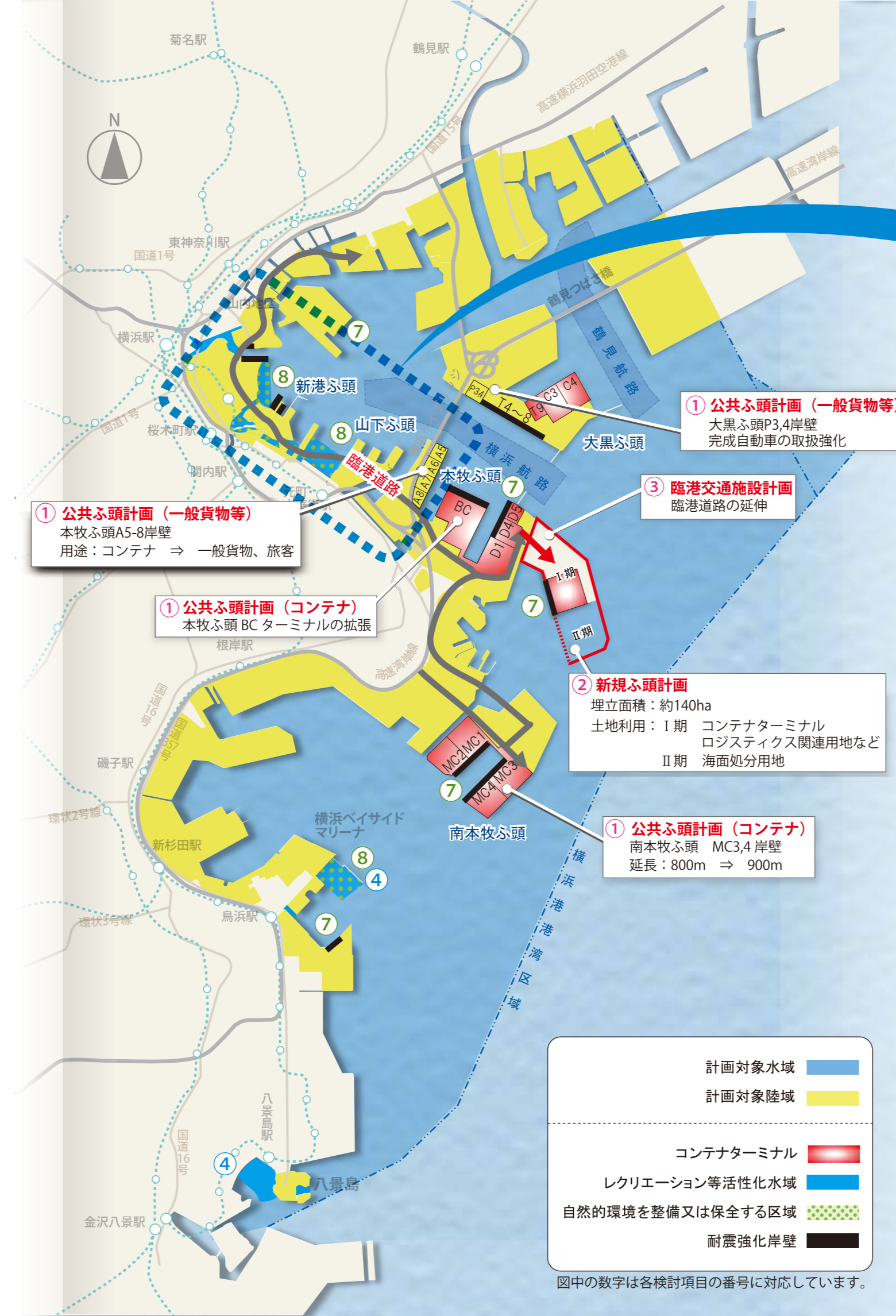
### ③ 臨港交通施設計画

《物流機能を向上させるとともに、市街地の交通混雑を緩和します》

広域道路ネットワークの整備が進む中、将来にわたって発生する交通量を円滑に処理するため、ふ頭間の連絡機能を強化するとともに物流交通の市街地への流出を抑制します。



● ふ頭間を連絡する臨港道路



① 公共ふ頭計画 (一般貨物等)  
大黒ふ頭P3,4岸壁  
完成自動車の取扱強化

① 公共ふ頭計画 (一般貨物等)  
本牧ふ頭A5-8岸壁  
用途: コンテナ → 一般貨物、旅客

① 公共ふ頭計画 (コンテナ)  
本牧ふ頭BCターミナルの拡張

② 新規ふ頭計画  
埋立面積: 約140ha  
土地利用: I期 コンテナターミナル  
ロジスティクス関連用地など  
II期 海面処分用地

① 公共ふ頭計画 (コンテナ)  
南本牧ふ頭 MC3,4 岸壁  
延長: 800m → 900m

- 計画対象水域
- 計画対象陸域
- コンテナターミナル
- レクリエーション等活性化水域
- 自然的環境を整備又は保全する区域
- 耐震強化岸壁

図中の数字は各検討項目の番号に対応しています。

## 市民が集い、憩う港



### ④ 臨海部における賑わい創出

《世界に誇るウォーターフロントを実現します》  
レクリエーション等活性化水域を中心に、水上交通や観光船の充実、カヌーやシーカヤックなどの様々な活動やイベントを促進します。  
水際線緑地の活用や、周辺施設との回遊性を強化することにより、水域と緑地の一体的利用による相乗効果を生み出すとともに、新たな賑わいを創出します。

### ⑤ 山下ふ頭の再開発

《都心機能の強化に向け、再開発を進めます》  
物流主体の土地利用を見直し、市街地との近接性など優れた立地特性を生かした新たな賑わい拠点づくりを進めます。  
大規模で魅力的な集客施設などの導入が可能となる土地利用へ転換するとともに、山下公園との連続性を考慮した緑地やプロムナードを配置します。

### ⑥ 旅客船ふ頭計画

《横浜の海の玄関口として、多くのお客様をお迎えします》  
日本を代表するクルーズポートとして、客船の受入機能を強化します。  
本牧ふ頭 A 突堤で、ベイブリッジを通過できない超大型客船に対応していきます。  
[大さん橋ふ頭、新港ふ頭、本牧ふ頭 A 突堤]



● 内港地区を中心とした賑わい施設

## 安全・安心で環境にやさしい港

### ⑦ 大規模地震対策施設

《発災時に市民の皆様の安全と生活を守ります》  
緊急物資輸送の受入を行う海上輸送の拠点として、耐震強化岸壁 (12 バース) を適切に配置します。  
発災後の物流機能を維持できるよう、大型コンテナ船が着岸できる水深 16m 以上の岸壁 (9 バース) を耐震強化岸壁にします。

### ⑧ 環境保全

《親しみやすく美しい横浜港の環境を次世代に引き継いでいきます》  
市民の皆様や企業などと協働し、水質改善・緑地の確保、温暖化対策などに取り組んでいきます。  
自然的環境を整備又は保全する区域を中心に、藻場の育成やアマモ場の再生など多様な生物が生息する水辺環境を創出します。[内港地区、金沢地区]



● MM21 地区の耐震強化岸壁



● 再生されたアマモ場 (金沢地区)

Q1 8つの求められる取組 (検討項目) と計画内容について、特に重要と思われるものに  チェックしてください (複数回答可)。

- ① 公共ふ頭計画
- ② 新規ふ頭計画
- ③ 臨港交通施設計画
- ④ 臨海部における賑わい創出
- ⑤ 山下ふ頭の再開発
- ⑥ 旅客船ふ頭計画
- ⑦ 大規模地震対策施設
- ⑧ 環境保全

Q2 今回の横浜港港湾計画の内容について、ご意見をご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---